

2017年12月15日(金)

“森林資源を活用した観光”推進に向けたマッチングセミナー

世界遺産 富士山の森を往く

公益財団法人日本交通公社

観光地域研究部

吉澤 清良

公益財団法人日本交通公社とは

- 1912年ジャパンツーリストビューローとして誕生
- 1963年に営業部門（現・株式会社ジェイティービー）を分離し、公益法人として調査・研究などの活動を通じ、旅行・観光の文化的かつ持続的な発展を目指している。

受託事業：観光計画策定、観光客実態調査、観光人材育成、等

自主事業：観光地経営講座、自然公園研究会、持続可能性指標、温泉まちづくり研究会、観光資源研究、等

受託事業（例）

山梨県 リバース富士講プロジェクトについて

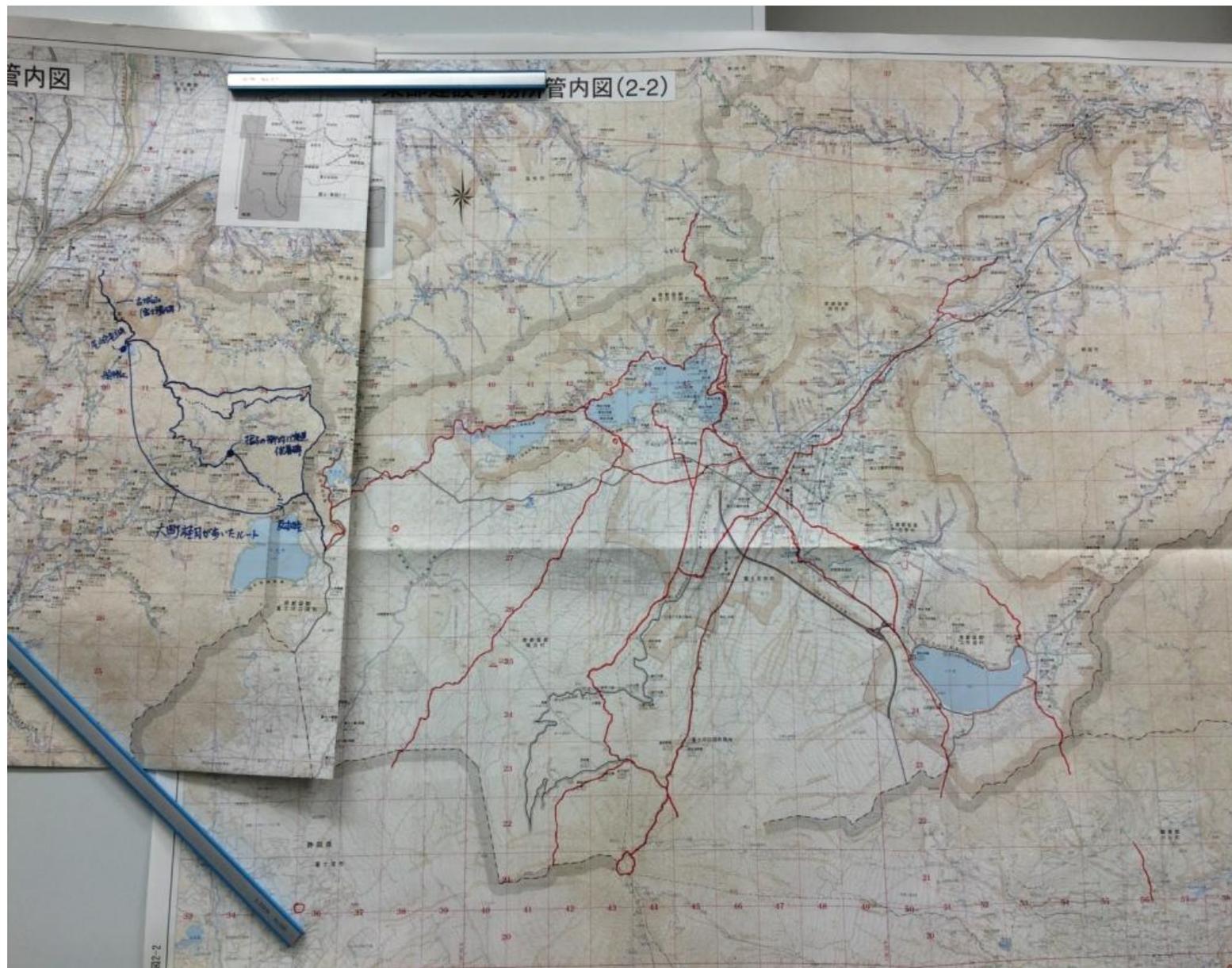
- 富士山＝世界文化遺産ではあるが、文化的な側面に対する理解が不足
- 2015年度～学芸員と観光担当セクションが協働でプロジェクトを推進

【これまでの取組】

- モデルコースの設定（内八海めぐり、富士山道、鎌倉街道・道者道）
- 案内ガイドの育成（座学と実地によるガイド研修会）
- 周遊ツールの作成

管内図

管内図(2-2)





①泉瑞



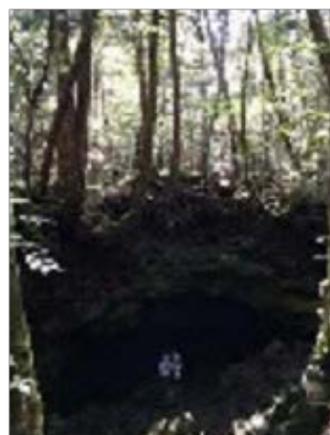
②山中湖



③明見湖



④河口湖
(母の白滝)



⑤西湖
(竜宮洞穴)



⑥精進湖



⑦本栖湖



⑧四尾連湖

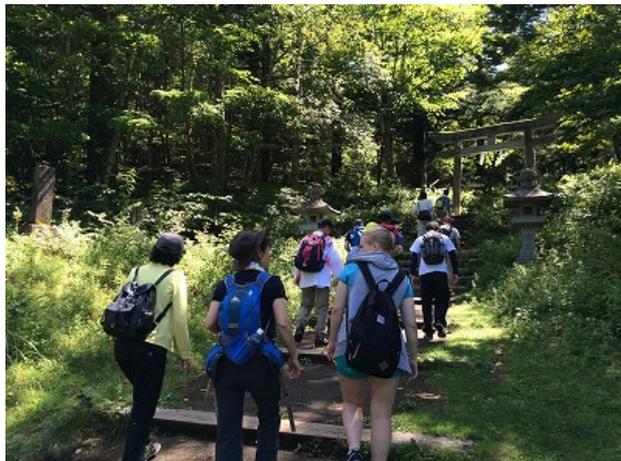
モニターツアー①

- 富士講の修行の一つ、「内八海めぐり」をモチーフにしたツアーを実施
- 参加者は行衣（巡礼用の白装束）を着用
- ガイドは地元学芸員



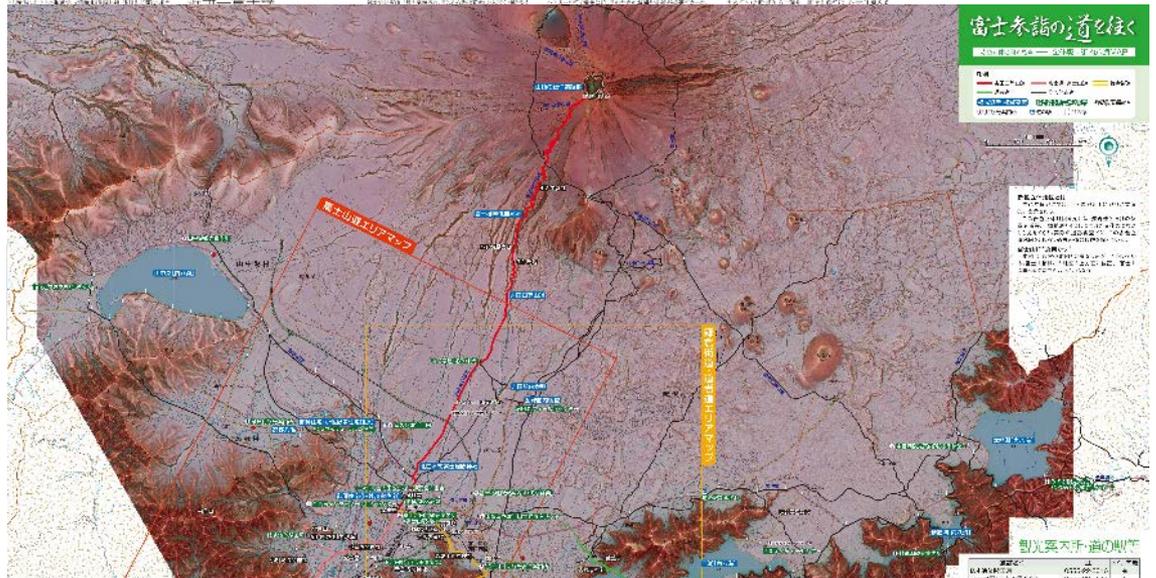
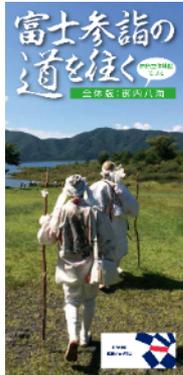
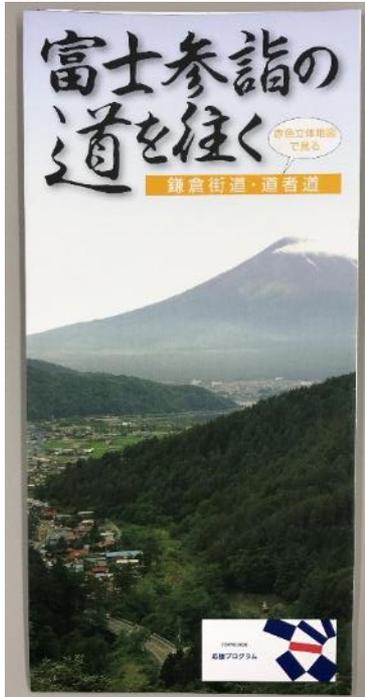
モニターツアー②

- 富士山の巡礼路、麓から五合目を歩く
- 対象：旅行会社や出版社、日本在住の外国人の方々
- ガイドは地元学芸員



周遊ツール「富士参詣の道を往く」

● 表面は各スポットの解説、裏面は赤色立体地図がベースとなったMAP



専門ガイドが御案内！

日帰り

世界遺産構成資産を巡る 富士講 追体験ツアー

旅のおすすめポイント

- ☆江戸時代に隆盛期を迎えた、富士山を崇拜する人々によって組織された講社「富士講」。
- 当時の人々と同じように、行衣と金剛杖を身に付けて、富士山信仰にふれる事ができます。
- ☆富士山世界遺産センターの専門ガイドの解説付きです。
- ☆富士山が「信仰の対象」「芸術の源泉」であること、その価値を証明する25の「構成資産」のうち、今回は3箇所を巡ります。（本栖湖、御師旧外川家住宅、北口本宮富士浅間神社）
- ※4月以降も他の構成資産を訪れるツアーを募集予定です。

横浜発 1/24 (水) ・ 2/17 (土) ・ 3/15 (木) ■旅行代金
 新宿発 1/28 (日) ・ 2/20 (火) ・ 3/17 (土) **9,800円**
 バス代、食事代、入館料、御朱印、ガイド料含む



本栖湖



富士山世界遺産センター



行衣・金剛杖



行 程	食 事
横浜 (8:00) / 新宿 (8:00) — 富士山世界遺産センター (10:00) (行衣と金剛杖の貸し出し) — 本栖湖 (千円札に描かれている富士山の景勝地を見学、写真家：岡田紅騎シャッターポイント) — ほうとう不動 (昼食) — 御師旧外川家住宅 (国の重要文化財。富士講全盛の当時と変わらない住宅を見学) — 北口本宮富士浅間神社 (吉田口登山道の起点。御朱印付) — 富士山世界遺産センター (行衣と金剛杖の返却、ショッピング) (16:00) — 発地着 (18:00頃)	昼食

最少催行人員 25名、添乗員同行

旅行企画・実施 富士急トラベル ツアーセンター首都圏

TEL0120-765489 FAX03-3376-0335 担当 添田

<営業時間> 平日 9:00~18:00 土曜日 9:00~15:00 日祝休

ご清聴ありがとうございました